

2015年東関東連盟SSK杯秋季大会(メジャー)決勝戦試合経過、監督及び主将コメント

1.試合経過

1回、先攻船橋は相手投手の立ち上がりを攻め、佐野の2塁打等で3点を先取した。

さらに3回にも1点を追加した。

一方、4点差を追う友部は3回、吉村の2塁打や相手守備の乱れに乗り3点を返し4回にも1点を追加して同点としたが、船橋は5回に2点、6回には関根のソロホームランで友部を突き放した。

1.コメント

船橋リーグ

山田監督

この秋季大会から監督を任せ優勝できたのは選手のおかげです。

打撃力はあるが投手力・守備力を一段とレベルアップし関東選手権大会に臨みます。

鈴木(忍) 主将

主将に選ばれ仲間を十分引っ張っていませんが、率先して声を出すようにしています。関東選手権大会は優勝を目指し皆の先頭にたって戦います。

友部リーグ

松本監督

このチームは相手に点をやらない投手を中心の守備のチームです。秋季大会も準決勝戦まではこつこつと繋ぐ打線でしのいできました。

関東選手権大会も投手を中心に打線をつなぎ勝ち上がります。

岩井主将

関東選手権大会では決勝戦で船橋と戦いたい。必ずリベンジし連盟大会の借りを返し優勝します。

平成27年10月24日

広報部長 美濃 衛